

## 『小学校数の適正化と町の人口対策について』



文教厚生常任副委員長  
広報常任委員  
議会運営委員

### 福山美佳

#### 小学校数の適正化について

現段階での各小学校の児童数とその格差に対しての是非を問う。

**(教育長)** 第一小学校 131人  
第二小学校 70人  
第三小学校 115人  
第四小学校 77人

各学校差、そして最小4人から最大27人と学年差がみられる。第二小学校の2年生が最小4人であり、来年度から、現1年生8名と複式学級制となる。

過去に4小で複式学級があったが、その頃からすると子どもたちを取り巻く学習環境が変わっているが、具体的な工夫・改善の予定は？

**(教育長)** メグビット（文部科学省が開発したオンライン学習システム）や、端末を含めた電子黒板などのICTをうまく使い有効活用で、複式学級の指導の充実を考えている。

0歳児から未就学児の人数から、今後の小学校の児童数はどうなっていくと予想されるのか？

**(教育長)** 昨年度の出生数が38人。その前は40人台、あるいは60人台。しばらくは40人前後を維持していくと思う。

児童数が減ることが予想される中で、何年かけて適正化の計画を終わらせるのが適切か、教育長の個人的な考えは？

**(教育長)** とても難しいですが個人的な見解でいえば、現状維持か、統廃合か。そこが分岐点。もし仮に統廃合ということが進むなら、クラス替えができる規模という判断をしたほうが一番子どもたちのためにはなるのかなという思いをもっている。

小学校数の適正化について検討する時期ということは、人口減少、少子化が原因。金銭的な支援も大切だが、移住定住につながる子育てしやすい町になるために、友達や知り合いの少ない転入者への産後のサポートは？

**(担当課長)** 包括支援センターから、産後1、2か月の家庭に赤ちゃん訪問を行っている。その際に、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、社会的支援の周知をし、転入された子育て世代の方にも内容の周知を行っている。



#### 町の人口対策について

企業誘致により、町に仕事を生み出すことはできるが、住むところがないと通勤可能な他へでていってしまう。移住定住できる環境に、今、南関町があると思うか？

**(町長)** 過去には南関町も入っていない分の住宅を購入し、その後、住宅は満杯になり、2年後には出生率が1.6倍増したことがある。住まいというのは非常に大切な定住の要件にな

る。今回、協議会をつくり、国の補助金も活用し、これから初めて踏み込んだことをしていくので、空き家対策、定住につながるような対策を進めていくことができればと思う。

#### まとめ

金銭的支援だけで子育てする場所を選ぶとは思えない。子どもを産んだ後の子育て支援、交流する場、学校の教育環境などの発信の強化で、育てやすいとわかる場所に。小学校数の適正化については、一番大事なのは、安定した子どもたちへの教育環境であり、未就学児の保護者の意見、また、小学校は地域コミュニティの核であることから、地域の皆さんの声を聞き、混乱の少ないよう検討体制を整えていく計画を望む。小学校数の適正化は若い世代の転出、移住定住にも影響する。家を建てる場所も変わる。地域の衰退へとつながらないよう、じっくりと、町民と話し合いの場を設けて、先回りの計画と提案、ケアをしていくことを期待する。





広報常任委員長  
議会運営副委員長  
総務産業常任委員

## 伊藤博長

『イノシシを増やさないという生息環境管理の視点も重要』  
『老人クラブに寄り添い、加入促進策を見出してほしい』

イノシシ対策の状況	H29	H30	R元	R2	R3	計	伸び率
捕獲数(単位:頭)	298	351	463	606	665	2,383	223%
電気柵設置補助額(千円)	3,035	4,319	5,996	4,542	5,543	23,435	193%

### イノシシ被害対策

- 1、過去5年間の捕獲状況の推移、被害対策の予算の推移、農作物への被害状況
- 2、地区別捕獲数
- 3、実施している被害対策と今後の対策を問う。

**(町長、経済課長)** 1については別表の通り。地区別は賢木、大原地区が多い。被害状況は主に農業共済組合で把握。

3の現在の対策は、生態など正しい知識の啓発活動、農作物を守る活動支援としての侵入防止柵設置補助、有害鳥獣捕獲隊による捕獲業務、狩猟免許の取得費補助など。

今後は、現在の対策を継続しながら、広域的活動を行っていく。

捕獲状況は伸び率 223%。電気柵設置補助額は伸び率 183%。

多くの予算を使っているにもかかわらず増えており、現状の対策だけでは今後も増える。

捕獲や防護策に加えて、地図上で計画を立て、放置されている柿や栗を伐採し餌場をなくす活動や、農地周辺の隠れ場所をなくす活動などの生息環境管理の視点が必要。

**(経済課長)** 生息環境管理の視点は、地域ぐるみの活動の継続が大事だ。

そうだとすると、南関町の役目は、そういう活動をやろうという組織を手厚く支援し、地域の集落が一丸となって取り組む方向に持っていくこと。

また、捕獲したイノシシの処分に困っていると聞く。肥料化やジビエの処理加工施設の広域で取り組みの考えはあるか。

**(経済課長)** 今後、南関町と和木町で話し合いを行い、減容化したのを肥料化につなげる形で協議していく。

### 老人クラブについて

今後の南関町老人クラブの役割と在り方について問う。

**(町長)** 現在7クラブあり、会員数は264人。各地域で、高齢者の皆様が健康で心豊かな生き方ができる活動を広げると、社会貢献の担い手としての役割がある。

高齢者の皆様が、支援の必要な高齢者や子育て世代等を見守り支援していく地域の体制づくりが必要。

高齢者は増えるが、クラブ数や会員数が減るといふ不健全な状態だ。現状のままだと消滅の危機だと思いが。

**(町長)** 確かに現状は非常に厳しい。連合会に所属しない老人クラブ的な地域組織もあり、連合会と地域組織がお互いに歩み寄り、組織の強化につながればと思う。

町も連合会や地域組織に寄り添って、連合会の組織を広げて行く方策を見出してほしい。

**(福祉課長)** 今後は、会合に参加し、老人クラブのニーズ、課題(役員の負担増、活動場所への移動手段等)や活動への要望を直接聞き、町として支援できる範囲で支援したい。

補助交付要領の3条に「補助金は、活動を実施した月数に月額4,320円を乗じた額に年額5,000円を加え、その額に0.9%を乗じた額とする」とある。

この制度だと、毎月活動しないと補助金の満額はもらえず、特にコロナ禍で毎月活動出来ない。年額で補助する仕組みにした方がいい。

また、加入率を増やそうとすれば、新しく加入するクラブには1万円上乗せを考えてもいいと思う。

**(町長)** 加入促進策も含め、補助金の内容は厳しい面もあると思うが、しっかり確認し検討する必要がある。



『町民が安全安心に快適に』  
『歩くことができる歩道整備』



文教厚生常任委員長  
議会運営委員

北原浩一郎

通学路の交通安全確保のために

**(町長)** 南関町通学路安全推進会議では、学校からの要望に基づき年2回の会議と年1回の現地調査をし対策を講じている。

路側帯がグリーン化されている箇所とされていない箇所があるか？

**(町長)** 通学路を重点に設置している。

私は10月にタブレットを使用した1小の通学路危険箇所ワークショップに参加した。関村からうから館方面は歩道から路側帯に入っていくが白線がほぼ消えていた。カラー舗装もされていない。児童の皆さんと歩いてみて、危険箇所は実際に歩かないとわからないということに気づいた。しかも、この箇所は要望一覧に上がっていない。誰の目線か。どのような視点か。学校からの要望が上がってからではなく、気づいた箇所は町が率先して線を引く。そして通学路のグリーン舗装化を急ぐ。これが、児童はもちろん町民も安全安心に歩ける道路環境になるのである。

南関町の夜は暗い  
—街灯設置の現状—

**(町長)** 街灯は建設課。通学路で集落管理区域に属さない区間は教育課。各行政区が設置する防犯灯やLEDへの更新、電気代に対する補助は総務課が窓口である。

やはり縦割り。一元化して南関町の夜は暗いと言われない外灯整備を急ぐべき。電柱にLEDの太陽光の電灯をつければ、柱も電気代も要らない。

**(町長)** 町民の安全を確保するためには、お金が幾らかかってもすべきという町民の思いがあるならば検討していく必要がある。費用的な問題、どこにつけるのか、交通安全プログラムも含めて、ご意見を伺いながら基本的な要綱等を検討していく必要がある。



ウォーキングの町に

ふだん運動から離れてしまっている人や運動不足を気にしている人こそウォーキングは心と体の健康を保つ運動として最適である。コロナで、フレイル状態になっている人はきっと増えている。

**(町長)** 要介護の認定率は、令和3年度で21.7%とほぼ横ばいか微増。

ウォーキング愛好者を増やす5つの仕掛け

- 1, ウォーキングコースを作る。休日や時間がある時に歩こうという動機付けになる。
- 2, ウォーキングアプリの開発。歩いた歩数がポイントになり、町内の

事業所で使えてお得。

**3, 健康情報の周知。** 体力・筋力減退の予防には7,500歩。生活の中で3,000歩歩いたら、あと4,500歩歩けば良い計算。心疾患、脳卒中、認知症には5,000歩。がんには7,000歩、高血圧には9,000歩で予防効果ありというデータがある。こういう情報があれば、背中を押してくれる。

**4, 安全安心に歩ける路側帯のグリーン舗装。**

**5, 夜も安心して歩ける外灯の設置。**

健康寿命を伸ばし要介護者を減らし本当の健康推進の町を目指す為にこの5つの推進を。

**(町長)** ウォーキングについては、フットパスと重ね合わせたコースの開発もできる。子どもたちの通学、町民の皆さんが安心安全で歩ける道路、照明も含めて総括的に、町も一つの課じゃなくて全体的に、検討を進めていければと思う。





総務産業常任委員

## 境田敏高

### 『安全な交通経路の現状と対策は』 『ランドセル症候群について』

女乙坂から七十三地区入口、大久保地区入口から八田、

④チキン食品から NFT の各区間のパトロールを行っている。地域の方から通行に支障があると連絡を頂いた場合は、維持班や職員で伐採等の対応をしている。

**(町長)** いろんな事業と組合せたときに、それがふさわしいのか、それぞれの地域でできるのかとかも含めて、いろんな市町村の状況ももう一度調査し、町の事業としてできるか等も検討したい。

#### 安全な交通経路の 現状と対策は

近年は人口減少・過疎化が進み、危険木等の安全対策の施工を要望、指導しても対応ができない、また所有者が判明しない、判明しても連絡がつかない所有者不明土地が全国的に増えている。

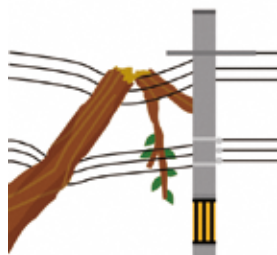
平成 29 年には九州の面積よりも広い所有者不明土地があるといわれている。所有者不明土地の存在は公共事業の推進などに様々な支障が生じる。

今回取り上げた安全な交通経路の確保もそのひとつである。

数年前も通学路でもある町道に倒木が心配されるため早めに対処を要望していたが、いまだそのままである。雨が降るたびに不安は増すばかりと嘆かれている。そこで、町道に隣接する倒木等により支障を来すおそれのある危険木の現状と対策を尋ねる。

**(町長)** 樹木の所有者に伐採等をお願いしているがなかなか対応していただかず苦慮している。現在、早急の対応すべき箇所はないが重点区間として

- ①松尾地区入口から池の浦橋、
- ②小原・上長田の交差点から尾田・高久野線との交差点、
- ③金光教付近から平山電設、四ツ山・



南関町では令和 4 年度に危険木伐採等助成金交付要綱を制定した。

町内の危険木の伐採、撤去及び処分を行う者に対し、助成金を交付する。上限額は 50,000 円である。しかしこの制定は実際に住んでいる住宅に倒木被害を受けるおそれがある住宅に対してである。

南関町町道等環境整備補助金もあるが、私たちが利用する道路、歩道への危険木、迷惑木等にはもう一歩踏み込んだ施策を設けるべきある。

小国町は町道に隣接する危険木の伐採、搬出を促し、地震、台風、大雨などにより、道路が通行不能になることを防ぎ、また二次災害を防止する目的で、安全経路の確保の町道路沿線立木安全対策事業がある。これは経費の 2 分の 1 以内で、町が補助する金額は 30 万円以内である。わが町でも要綱の制定をすべきと思うが尋ねる。

#### ランドセル症候群について

文科省は 2018 年から通学時の荷物を少しでも減らそうと、教科書などを学校に置いて帰る「置き勉」を推進しているが、なかなかランドセルが軽くなると言われている。

重いランドセルを背負って通学することで体の不調を訴える子どもはいないのか。特に低学年は骨や筋肉が未発達のため重いランドセルが子どもの体に影響を与える。

負担軽減などの取組はどのように進んでいるのか。そこで、わが町での子どもの体に合わない重さによる「ランドセル症候群」の現状と対策を尋ねる。

**(教育長)** 昨年 4 月当初、県から児童生徒の携行品の重さや量へのさらなる配慮をする旨の通知文が出され、5 月末から 7 月末には、その実態調査もされた。ランドセル症候群について、今のところ教育委員会では保護者や学校からの問い合わせや相談の声は、あがっていない。



## 杉村『南関町新産業エネルギー誘致計画について』 町長『現段階においては信用調査は必要ない』



総務産業常任委員長  
議会運営委員  
有明広域行政事務組合議員

# 杉村博明

南関町では、先般の議会全員協議会において、業者より説明があったが、業者の信用性を問うたところ、町長は信用調査は必要ないと私が一番近い席にも関わらず、声を大きく荒げ答弁されたが何をもって業者の信用調査をせずに、信用されるのかを問う。

10月18日に全員協議会の中で、業者より説明がありましたけど、業者の資料の中でメリット、デメリットありますけど、メリットの部分だけしか聞かされていない。

なぜ町長はそこまで信用して、信用調査をしないとされたのかを問う。

**(町長)** 企業誘致を進めていく上での大前提として、短期間で話がまとまることは少なく、長い歳月を要する事案がほとんどであり、南関町新産業エネルギー開発戦略会議の設置に向けた取り組みについての説明を10月18日開催の議会全員協議会の場合へ企業より説明されたもので、私も事前に話を伺って、本計画の内容については、当然議会へも共有しておく必要があり、議会と執行部が同じテーブルに着いたという認識である。

また、近隣では玉名市で民間事業者が産業団地を整備し、市はそのインフラ整備への補助や固定資産税の免除の優遇措置を図るといふものである。

私が「信用調査は必要ないと答弁した」という認識を持ってようだが、私は「現段階においては

必要ない」旨を申しましたが、今回の案件については具体的に未だ何も決まっているわけではなく、今後の進展次第では、その段階に応じて対応する内容も変わっていくと思う。

企業側も今回の件については、このような構想をお持ちであるという青写真を話されたものであり、今後も議会への情報共有を図りながら丁寧に進めていきたいと考えている。



全員協議会の中で、誘致計画についてという議題あったが、町は誘致をされるものとして、議会に説明されたと思っていたが、そうではないのか。

**(町長)** まずは議会の皆さんと同じテーブルに立って、この企業が本当に南関町に進出するにふさわしいかどうか。

スタート時点から議員の皆さんと共有しながら、これからの道筋を判断したい。



### むすび

私が一番心配するのは、以前の竹関連企業が本格稼働するもなく、破産譲渡され町や県・国に迷惑を掛け、南関町に損害を与えた事例もありながら、信用調査もせずに議会に説明させることはナンセンスな話であり、業者より話があった時点で事前に業者の調査をして、議会に説明させるべきではないのか。

いつの時点で信用調査をするのか、今までの企業誘致とは違い、また、以前の竹関連企業の件もあり、町長は企業側のいい話ほど慎重になるべきであると考えている。



# 生の声を聴く

## 南関町 英語プロジェクト

## & 広報委員



**議員** この組織が目指すものは何でしょうか？

プロジェクト活動を通して、小中学生が町の魅力を再確認したり、英語を楽しく学ぶきっかけを作り、世界と繋がる感覚を経験する機会を提供したいと思いました。

**議員** 英語は学校で学びますが、これに参加する子ども達には何を学んでほしいですか。

学校ではない日常の英語、コミュニケーションできる英語を肌感覚で体験してもらいたい。現在 15 名が参加しておりますが、もっと多くの小中学生に参加してほしいです。

**議員** 今年度、南関町住民提案型補助金事業を活用されておりますが、具体的な活動は？

大好きな南関町の推しスポットを  
みんなで英語で紹介して  
町のプロモーションビデオを作ろう！



② 英語で紹介の練習



① 紹介場所を決める



④ 完成動画をみんなで鑑賞



③ いざ英語で撮影・収録



**議員** この活動を継続してやる場合の課題はありますか。

南関町の子どもたちには、多く参加してもらいたいです。今回、広報活動が足らなかったと思っております。また、今後継続した活動していくためには、画像を編集して YouTube で公開する作業を自前でやるのが課題です。

**議員** 町へのご要望などあれば教えてください。

上記の課題に上げましたが、現在、画像を編集して YouTube で公開するところが、専門業者にお願いするので、費用がかかります。少しでも補助があると助かります。

**議員** この活動に参加しての感想は？

南関町の良いところを英語を使って、世界中の人に伝えることができ嬉しかったです!! (大木颯馬)

英語を通じて南関町の魅力を紹介することができて、良かったと思います。大変勉強になりました。(大木桃子(颯馬の母))

動画を見て沢山の人に南関町のことを知って欲しいです。(吉永怜央)

英語で伝えるのは難しかったけど、南関町の知らなかった事がわかって、もっともっと南関町が好きになりました。(love) になりました。ぜひ沢山の方に動画を見てもらいたいです。(大倉隼)

お兄ちゃんお姉ちゃん達と一緒に南関そうめん食べてとても楽しかったです(^^)。(大倉琉)

英語の練習はちょっと難しかったけど、突破丸とも会えて英語で南関町を紹介できたことが嬉しかったです。(今井佑)

せっかく習ってる英語を使って、南関町を知らない人に町の魅力を伝えられる良い機会だと思いました(smile)。(今井智恵(佑の母))

**議員** 今年度の活動の予定を教えてください。

今年度は補助事業を利用して4つのコンテンツを作成する予定です。順次 YouTube で全世界に発信します。下記QRコードを読み取るか、YouTubeで「南関町」で検索すると閲覧できます！

**①外国人がトッパ丸くんに会いに行く!**




**②いきいき村での南関そうめん、南関あげ、の体験!**




**③関所まつりでのインタビュー!**




(今後の予定)  
消防出初式、難関突破祈願、大津山阿蘇神社など



**南関町英語プロジェクトのみなさん**

前列左から

1. 藤尾 美 佑 南関第三小 3年生
2. 佐野 遥 香 南関第一小 2年生
3. 大木 柑 夏 南関こどもの丘保育園 年中
4. 大木 優 心 南関第四小 2年生
5. 吉永 和 花 南関ひまわり幼稚園 年少
6. 吉永 安 沙 南関ひまわり幼稚園 年長

中列左から

7. 打越ありす 南関中 3年生
8. 大里 結 月 南関中 2年生
9. 今井 佑 南関第二小 2年生
10. 大木 颯 馬 南関第四小 4年生
11. 吉永 怜 央 南関第二小 3年生

後列左から

- 今井 智 恵 豊永
- 福岡 幸 子 関東
- 雪野マリセル 豊永
- ファイナフ コリーン 関東
- 山下 み き 東豊永
- 吉永 尚 平 宮尾

不 在

12. 大倉 隼 南関第三小 2年生
13. 大倉 琉 南関ひまわり幼稚園 年長
14. 田中 力 匠 南関第一小 4年生
15. 田中 大 紋 南関こどもの丘保育園 年長

**まだまだ、参加者募集中!**  
(参加費：1,000円)  
連絡先：090-1513-7805  
(南関町英語プロジェクト 山下みき)

**「生の声を聴く」を終えて...**

「取材することで南関町をより深く知り、英語で紹介することで英語に慣れ、公開することで世界とつながる体験」活気があり、アットホームな雰囲気でもあり、素晴らしい活動だと思います。

将来の可能性が無限の子ども達が、生の英語を体験できる貴重な場所ですので、お困り事があれば、町も支援すべきだと思います。

今後の活動に、期待しています。  
広報常任委員会

南関中3年 <sup>はし</sup>橋 <sup>もと</sup>本 <sup>あおい</sup>葵 さん

## 私が考える、南関町の未来



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

南関町に住み続けて九年がたちました。私は故郷の南関町が好きです。自然豊かで、緑がたくさんあるところ。地域の方が優しく、挨拶を元気に返して下さるところ。学校には面白い人がいっぱいいて、毎日笑顔で過ごせるところ。数えきれないほど好きなのがあります。

地域の方も、寺小屋教室などで南関町の子供のために様々な活動をされています。私も中学三年生から、寺小屋教室に参加しました。わからない所をたずねて、集中して勉強に取り組んだりできる環境があるのは幸せなことだと、改めて実感しました。

夏に開催される「ぎおんさん」も地域の人みんなで盛り上げます。今年は開催される予定なので、友達と行くのをとても心待ちにしています。

今の南関町は、こんなにたくさんの良い所があります。しかし、多くの人に知られていません。人口も年々減少しています。このままでは、他の市町村と合併して「南関町」がなくなってしまうかもしれません。

ですが、南関町の良いところ、ステキなところ、知ってほしいところをPRしていき、たくさんの人に知ってもらうことで活気あふれる南関町になるのではないのでしょうか。何十年たっても、私が大好きな南関町でいてほしいです。

## 議会傍聴しませんか

12月定例議会の傍聴人数はのべ15人でした。

5日：11人、6日：3人、12日：1人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●どなたでも傍聴できます。 ●定員30人

## 議会日誌

### ■10月

- 10月4日(火) 全員協議会
- 10月11日(火) 広報常任委員会
- 10月13日(木) 総務産業常任委員会、文教厚生常任委員会
- 10月18日(火) 全員協議会、広報常任委員会
- 10月20日(木) 広報常任委員会
- 10月27日(木) 広報常任委員会

### ■11月

- 11月10日(木) 文教厚生常任委員会
- 11月18日(金) 総務産業常任委員会
- 11月21日(月) 全員協議会
- 11月24日(木) 議会運営委員会

### ■12月

- 12月5日(月) 第8回定例会
- 12月6日(火) 第8回定例会、全員協議会、文教厚生常任委員会、総務産業常任委員会、広報常任委員会、議会運営委員会
- 12月8日(木) 第8回定例会
- 12月15日(木) 広報常任委員会
- 12月17日(土) 広報常任委員会
- 12月19日(月) 全員協議会

## テーブルイク



### 【どんどや】

私の育ったところでは、経験したことがなかった「どんどや」。南関町で初めて参加したとき、こんなに火があがって危なくないだろうか、と激しく燃え上がる光景に衝撃を受けました。気づけばちゃんと地区の消防団が、待機していて安心したことを覚えています。

「どんどや」には、無病息災、商売繁盛、豊年満作、家族の幸せの願いがこめられており、正月飾りやお守りを燃やすのは、家に来てくれた神様が、煙にのって天に帰れるように。書き初めは、煙が高く登るほど、習字がうまくなる。餅や団子を焼いて食べるのは、一年間健康で、虫歯にならないなどのご利益があるそうです。

火入れに至るまでには、地域の関係者の皆さんの作業と、思いのこもった準備に感謝し、そして「どんどや」が貴重な交流の場として残っていることに価値を感じました。

田舎でこそ経験しやすい事。他にもあると思います。南関の子ども達に、あたりまえの事がすごく貴重な体験ということ伝えてあげたいです。(福山美佳)



□発行責任者

議長 立山 秀喜

□編集(広報常任委員会)

委員長 伊藤 博長  
委員 山口 純子

副委員長 矢野 修一

委員 福山 美佳